

<リサーチ結果>

【家焼肉の食べ方に関する意識調査】

中部地方は甘口好き！

AB型は“自分の肉は自分で焼く野武士タイプ”が多い！

地域、年齢、血液型で差が出る「たれ」の好みや家焼肉の流儀

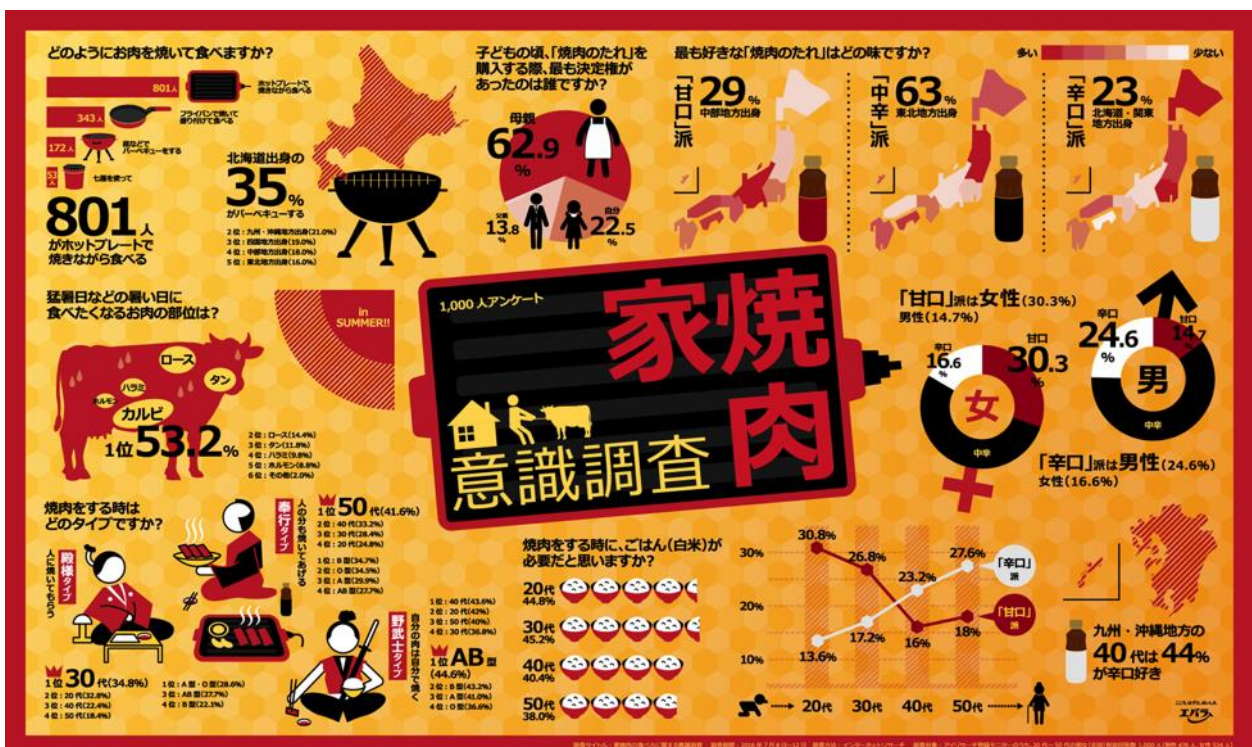
8月29日（焼肉の日）に向けた情報サイト「黄金カレンダー」新コンテンツ公開

エバラ食品工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：宮崎 遵）は、2016年7月8日～12日の5日間、20～50代の男女1,000人を対象に「家焼肉の食べ方に関する意識調査」をインターネットリサーチで実施しました。

また、6月29日から公開している、焼肉にまつわる情報を提供するWebサイト「黄金カレンダー」（<http://www.ebarafoods.com/sp/ohgon-calendar/>）では、『家焼肉のヒントは人気焼肉店にあり！東京を代表する焼肉5店の秘密を徹底解析！』、『「黄金カレンダー」編集長も驚いた！たれ焼肉の聖地、大阪・鶴橋の名店5選』といった最新コンテンツも紹介しています。今回の調査で判明した、地域ごとの好みの違いが、焼肉店の傾向にも表れているかもしれません。

アンケート結果トピックス

- 家焼肉はホットプレート派が8割！北海道出身者は3人に1人がバーベキュー派
- 猛暑日は濃厚な味わいのカルビが食べなくなる！？
- 全国的に「中辛」が多数派も、中部出身者の約3割は「甘口」好き
- たれの購入決定権は母親が掌握！父親は好きなたれで肉を食べられない？
- 焼肉にごはん（白米）は不可欠。若い世代ほど顕著に。
- AB型は“自分の肉は自分で焼く野武士タイプ”が多い！



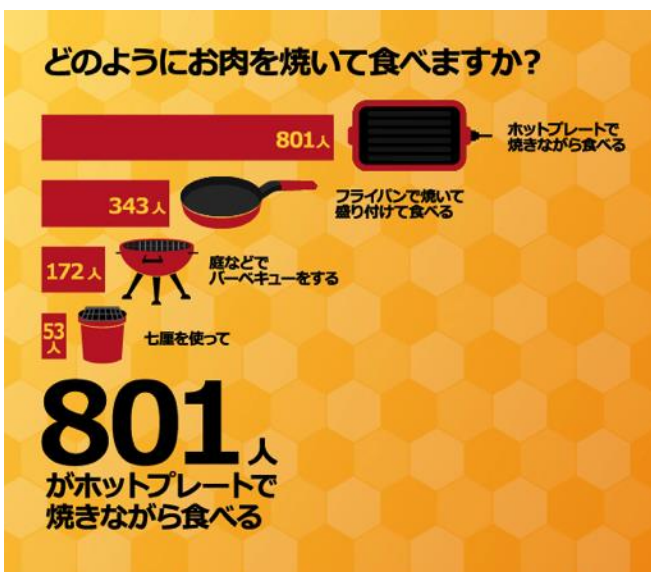
【家焼肉の食べ方に関する意識調査 1,000 人アンケート】

【シチュエーション】

家焼肉を行う際の焼き方をたずねたところ、第1位「ホットプレートで焼きながら食べる（801人）」第2位「フライパンで焼いて盛り付けて食べる（343人）」第3位「庭などでバーベキューをする（172人）」が上位にランクインしました。回答者の出身地域別で見ると、「庭などでバーベキューをする」と回答した人は、北海道出身者が35.0%と圧倒的に多い結果となりました。

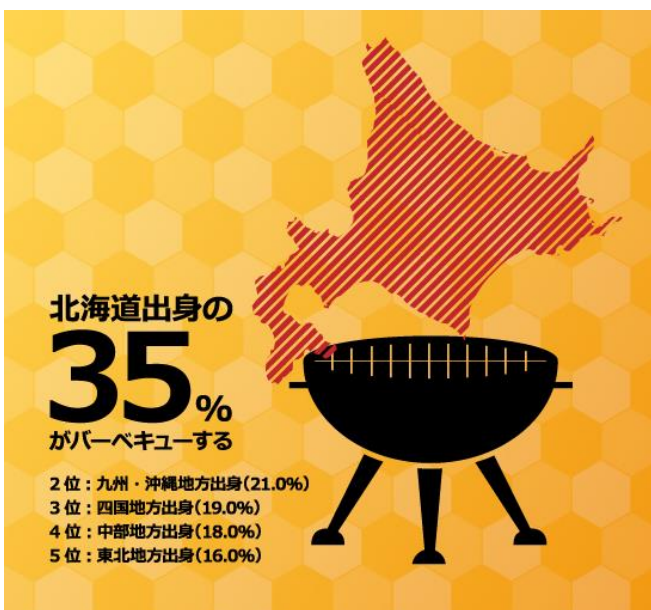
また、記録的な猛暑が予想される今夏ですが、「猛暑日などの暑い日に最も食べたくなるお肉の部位」では、第1位「カルビ（53.2%）」第2位「ロース（14.4%）」第3位「タン（11.8%）」となりました。

Q. 現在、家で焼肉をする際は、どのようにお肉を焼いて食べますか。[複数回答]



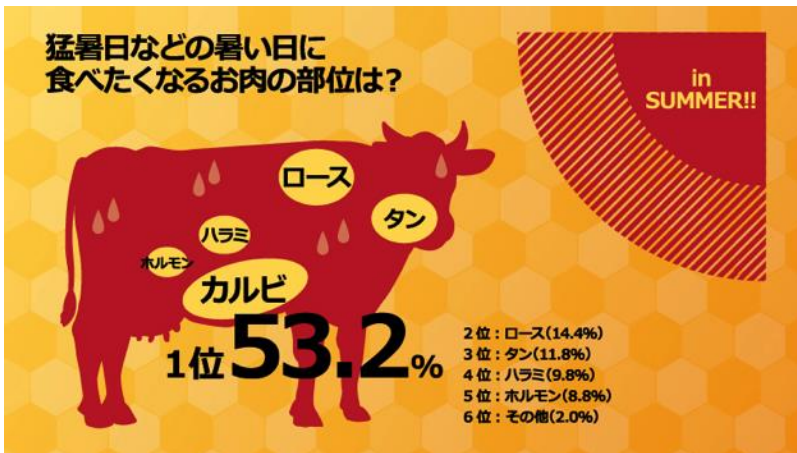
- 第1位：ホットプレートで焼きながら食べる（801人）
- 第2位：フライパンで焼いて盛り付けて食べる（343人）
- 第3位：庭などでバーベキューをする（172人）
- 第4位：七厘を使って（53人）
- 第5位：その他（10人）

出身地別「庭などでバーベキューをする」と回答した人の割合 [TOP5]



- 第1位：北海道出身（35.0%）
- 第2位：九州・沖縄地方出身（21.0%）
- 第3位：四国地方出身（19.0%）
- 第4位：中部地方出身（18.0%）
- 第5位：東北地方出身（16.0%）

Q. 猛暑日などの暑い日に焼肉をする場合、最も食べたくなるお肉の部位をお答えください。
[単一回答]



第1位: カルビ (53.2%)

第2位: ロース (14.4%)

第3位: タン (11.8%)

第4位: ハラミ (9.8%)

第5位: ホルモン (8.8%)

第6位: その他 (2.0%)

【たれの好み】

「甘口」「中辛」「辛口」の中で、最も好きな「焼肉のたれ」はどの味かという設問では、第1位「中辛 (56.7%)」第2位「甘口 (22.9%)」第3位「辛口 (20.4%)」と、「中辛」が人気でしたが、出身地域別で見ると、中部地方出身者は約3割が「甘口」派で、ほかの地域よりも「甘口」を好むという結果になりました。

同じく、たれの好みについての回答結果を世代別で見たところ、「甘口」派は20代 (30.8%)、30代 (26.8%)、40代 (16.0%)、50代 (18.0%)、「辛口」派は20代 (13.6%)、30代 (17.2%)、40代 (23.2%)、50代 (27.6%)という結果となり、若い世代ほど「甘口」を好み、中年世代は「辛口」を好む傾向がありました。

また、男女別では、「甘口」派は男性 (14.7%)、女性 (30.3%)、「辛口」派は男性 (24.6%)、女性 (16.6%)となり、たれの好みには男女差があることが分かりました。

Q. あなたが最も好きな「焼肉のたれ」はどの味ですか。[単一回答]



「甘口」と回答した人の割合 [出身地域別]

第1位: 中部地方出身 (29.0%)

第2位: 中国地方、四国地方出身 (26.0%)

第4位: 近畿地方出身 (24.0%)

第5位: 九州・沖縄地方、関東地方出身 (22.0%)

第7位: 北海道出身 (19.0%)

第8位: 東北地方出身 (15.0%)



「中辛」と回答した人の割合 [出身地域別]

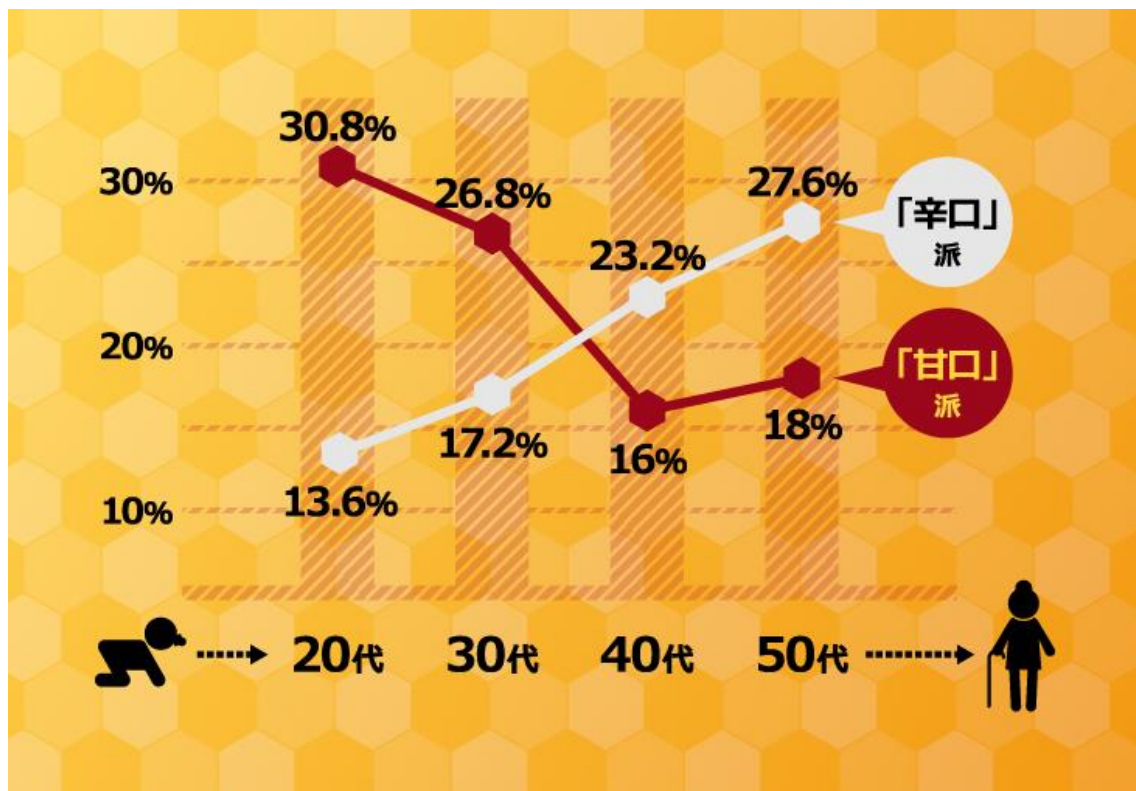
- 第1位: 東北地方出身 (63.0%)
- 第2位: 四国地方出身 (59.0%)
- 第3位: 北海道、九州・沖縄地方出身 (58.0%)
- 第5位: 近畿地方出身 (56.5%)
- 第6位: 関東地方出身 (55.0%)
- 第7位: 中部地方、中国地方出身 (53.0%)



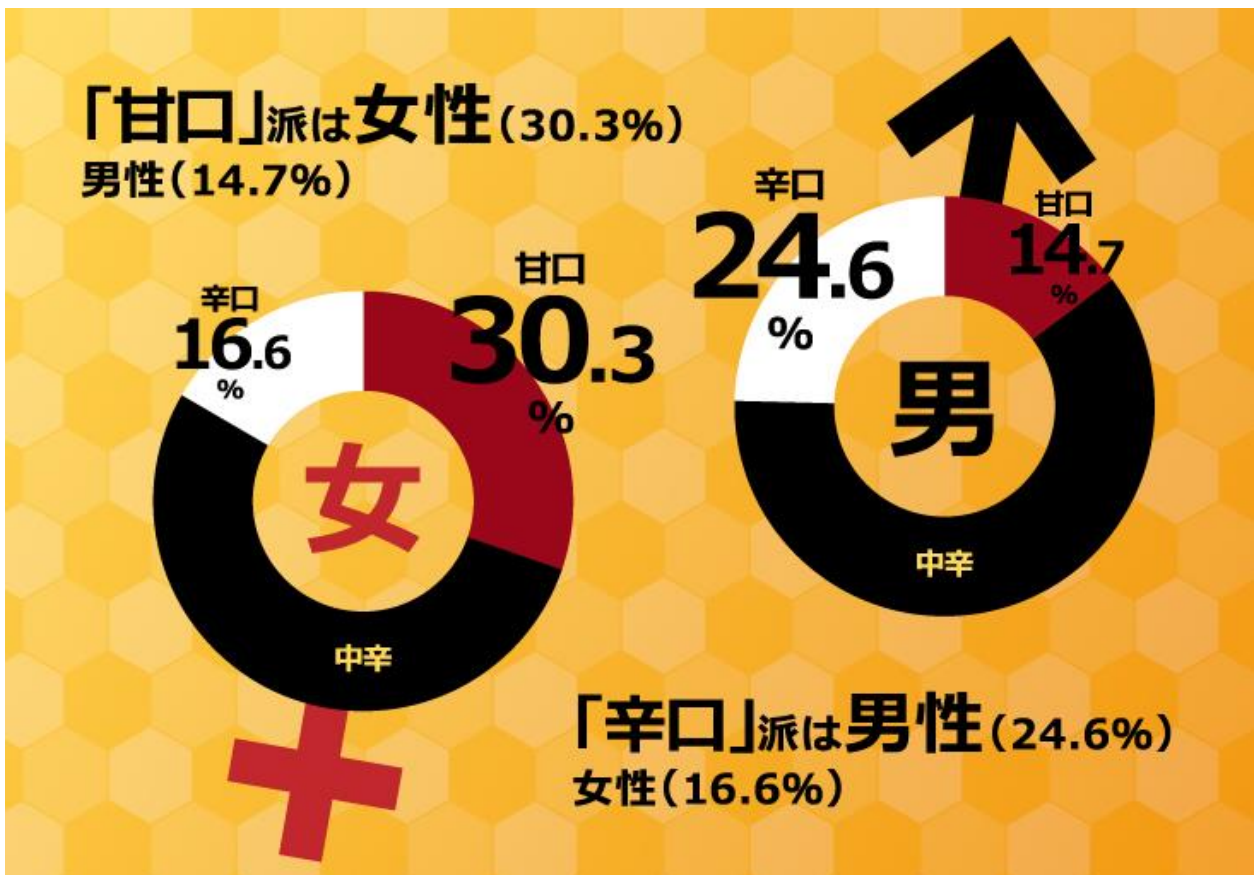
「辛口」と回答した人の割合 [出身地域別]

- 第1位: 北海道、関東地方出身 (23.0%)
- 第3位: 東北地方出身 (22.0%)
- 第4位: 中国地方出身 (21.0%)
- 第5位: 九州・沖縄地方出身 (20.0%)
- 第6位: 近畿地方出身 (19.5%)
- 第7位: 中部地方出身 (18.0%)
- 第8位: 四国地方出身 (15.0%)

Q. あなたが最も好きな「焼肉のたれ」はどの味ですか。[単一回答/世代別]



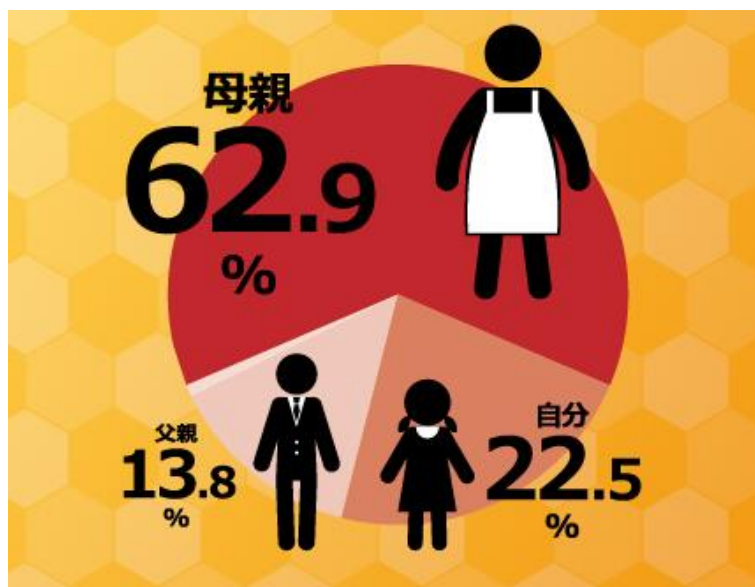
Q. あなたが最も好きな「焼肉のたれ」はどの味ですか。[単一回答／男女別]



【購入動向】

味の好みが分かれる「焼肉のたれ」ですが、子どもの頃に「焼肉のたれ」を購入する決定権があった人は、第1位「母親 (62.9%)」第2位「自分 (22.5%)」第3位「父親 (13.8%)」と、母親の決定権が圧倒的に強い一方、父親の決定権はあまりなかったことが分かりました。

Q. 子どもの頃、あなたの家でどの「焼肉のたれ」を購入する際、最も決定権があったのは誰ですか。[単一回答]



【食べ方】

焼肉をする時にごはん（白米）が必要かどうかという設問では、「絶対必要」と回答した人は 20 代（44.8%）、30 代（45.2%）、40 代（40.4%）、50 代（38.0%）という結果となり、若い世代のほうが、焼肉を食べる際にごはん（白米）を欲していることが分かりました。

Q. あなたは、焼肉をする時にごはん（白米）が必要だと思いますか。[単一回答／世代別]



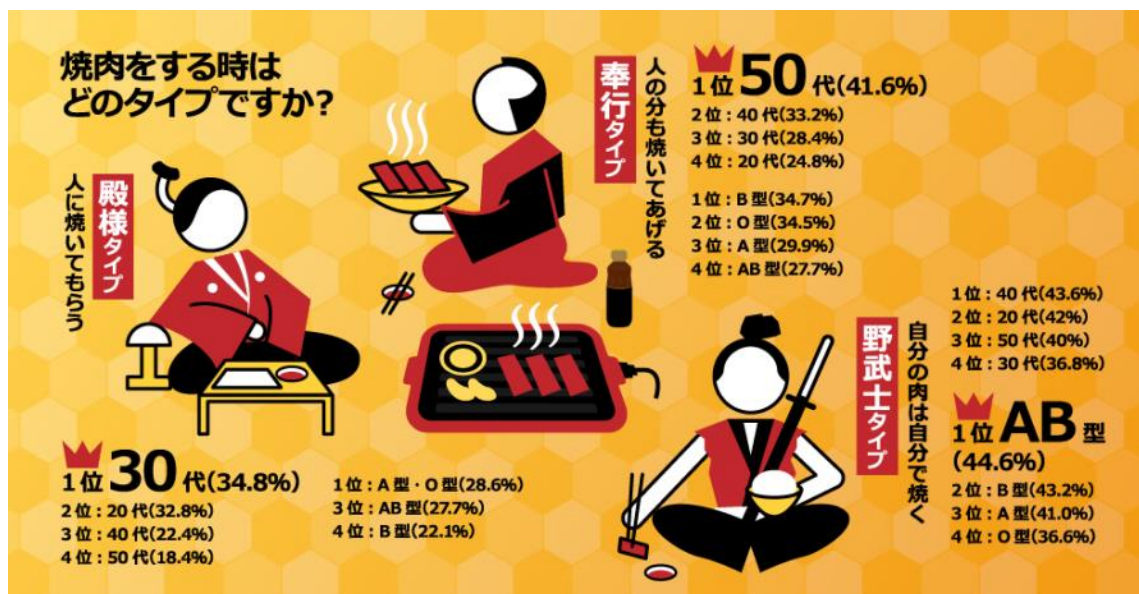
【焼肉時のスタンス】

焼肉時のスタンスを、「人に焼いてもらう＝殿様タイプ」「人の分も焼いてあげる＝奉行タイプ」「自分の肉は自分で焼く＝野武士タイプ」の3タイプに定義し、自分は何どのタイプに最も近いかをたずねました。

血液型別で見ると、「野武士タイプ」の割合は、第1位「AB型（44.6%）」第2位「B型（43.2%）」第3位「A型（41.0%）」となりました。

世代別で見ると、「殿様タイプ」の割合は、第1位「30代（34.8%）」第2位「20代（32.8%）」、第3位「40代（22.4%）」第4位「50代（18.4%）」。「奉行タイプ」の割合は、第1位「50代（41.6%）」第2位「40代（33.2%）」第3位「30代（28.4%）」第4位「20代（24.8%）」となり、若い世代は人に焼いてもらい、中年世代は人の分まで焼いてあげるという、年功序列とは逆の結果となりました。

Q. 焼肉の際、あなたはどのタイプに最も近いですか。[単一回答／血液型別・世代別]



【調査概要】

1. 調査の方法 株式会社ネオマーケティングが運営するアンケートサイト「アイリサーチ」のシステムを利用したWEB アンケート方式で実施
2. 調査の対象 アイリサーチ登録モニターのうち、20代～50代の男女（全国）
3. 有効回答数 1,000人（男性476人、女性524人）
4. 調査実施日 2016年7月8日～12日

■8月29日（焼肉の日）に向けた情報サイト「黄金カレンダー」続々と新コンテンツ公開！

グルメライフスタイル誌「東京カレンダー」と共同で、肉を知りつくしたスペシャリストから得た、焼肉にまつわる情報を提供するWebサイト「黄金カレンダー」。

「東京カレンダー」編集長の大槻 篤氏が、Webサイト「黄金カレンダー」編集部を立ち上げ、8月29日（焼肉の日）までに究極の“黄金の肉ごはん”を完成させるべく、“家焼肉”の進化を探求し、「ごはんがすすむ黄金比」を見つけだします。

サイト内では、『家焼肉のヒントは人気焼肉店にアリ！ 東京を代表する焼肉5店の秘密を徹底解析！』や、『「黄金カレンダー」編集長も驚いた！ たれ焼肉の聖地、大阪・鶴橋の名店5選』『ごはん、肉、たれが織りなす奇跡！ 東京で人気の肉丼5軒を徹底食べ歩き！』など、さまざまなコンテンツを公開中です。

東京カレンダー

TOKYO No.1のグルメライフスタイル誌「東京カレンダー」。30代～40代の好奇心旺盛な読者に向け、最新鋭のグルメ情報を軸に、ファッション、クルマ、時計その他刺激的なアーバンライフを発信。また、より速報性の高いWebサイトも始動。月刊PVが2,000万を超える人気サイトになり、雑誌とWebの両面からTOKYOの魅力伝えるメディアへと成長を遂げる。

■黄金カレンダーURL

<http://www.ebarafoods.com/sp/ohgon-calendar/>



【報道関係の方のお問い合わせ】

エバラ黄金の味「黄金カレンダー」PR事務局（株式会社オンヨミ内）
担当 中嶋(050-3743-0062)、大宮(050-3634-2155)、漆畑(050-3701-2155)
FAX: 03-6735-4340 / e-mail: press@onyomi.jp